

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	子どもの音楽 I A		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの音楽 I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	こどものうた 200、続こどものうた 200		出版社	チャイルド本社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	子ども達と楽しく歌を共有することをイメージし、レパートリーを増やす				
到達目標	保育現場で子ども達と共有できる歌とピアノの技術の習得ができる				
評価基準	授業態度：40% 実技発表：30% 小テスト、学期末修得確認：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許				
関連科目	子どもの音楽 I B、子どもの音楽 II A・II B、子どもの音楽 III A・III B、こどものうた				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡辺 淳子	実務経験	○		
実務内容	愛知ムジカ少年少女合唱団にて指導者・伴奏者 5年勤務、(株)宮地楽器にてヤマハ音楽教室ピアノ講師 5年勤務 (株)ヨコオ・ミュージックにてクラシックピアノ演奏者 5年間勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・評価方法、手の形/指番号/姿勢について
2	ピアノの基本②	・CFGのコード、ハ長調の曲について ・小テスト
3	ピアノの基本③	同上
4	ピアノの基本④	同上
5	ピアノの基本⑧	・生活のうた、ハ長調の曲について ・小テスト
6	ピアノの基本⑨	同上

7	ピアノの基本⑩	同上
8	ピアノの基本⑭	・ハ長調の曲について
9	ピアノの基本⑮	同上
10	まとめ①振り返り	・ハ長調の曲の振り返りについて
11	ピアノの基本⑲	・FCBのコード、ハ長調の曲について ・小テスト
12	ピアノの基本⑲	同上
13	ピアノの基本㉑	・伴奏に旋律のある曲、ハ長調の曲について
14	期末テスト	・期末テストの実施
15	総まとめ	・テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	子どもの音楽 I B		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの音楽 I B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	30
使用教材	こどものうた 200 続こどものうた 200		出版社	チャイルド本社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	子ども達と楽しく歌を共有することをイメージし、レパートリーを増やす				
到達目標	季節、行事の歌など、こどものうたを幅広く演奏できるようになる				
評価基準	授業態度：40% 実技発表：30% 学期末修得確認：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許				
関連科目	子どもの音楽 I A、子どもの音楽 II A・II B、子どもの音楽 III A・III B、こどものうた				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡辺 淳子	実務経験	○		
実務内容	愛知ムジカ少年少女合唱団にて指導者・伴奏者5年勤務、(株)宮地楽器にてヤマハ音楽教室ピアノ講師5年勤務 (株)ヨコオ・ミュージックにてクラシックピアノ演奏者5年間勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、評価方法について
2	ピアノの応用 へ長調	へ長調の曲について 小テスト
3	ピアノの応用 へ長調	同上
4	ピアノの応用 へ長調	同上
5	へ長調まとめ 実技発表	今まで学んだへ長調の曲の復習
6	ピアノの応用 ト長調	ト長調の曲について 小テスト

7	ピアノの応用 ト長調	同上
8	ト長調まとめ 実技発表	今まで学んだト長調の曲の復習
9	ピアノの応用 ニ長調	ニ長調の曲について 小テスト
10	ピアノの応用 ニ長調	同上
11	ニ長調まとめ、実技発表	今まで学んだニ長調の曲の復習
12	ピアノの応用 変ロ長調	変ロ長調の曲について
13	ピアノの応用 ハ短調ホ短調	短調の曲（ハ短調ホ短調）について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	子どものリトミック A		
必修選択	選択	(学則表記)	子どものリトミック A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科		30
使用教材	楽しみながらからだを動かす1歳～5歳の「かんたんリトミック」、こどものうた200		出版社	ナツメ社、チャイルド本社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	音楽を通して自己表現の幅を広げる				
到達目標	子ども達と一緒に音楽で動ける喜びを味わい、年齢や季節に合わせた動きを実践することができる				
評価基準	表現力、創造性、協調性を含む平常点 40%、定期修得確認 30%、学期末修得確認 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許				
関連科目	子どものリトミック B/手遊び/こどものうた				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	木下 未佳	実務経験	○		
実務内容	カワイ音楽教室にて2歳コース、3歳コース、4・5・6歳コースピアノ個人のレッスンを担当。 現在、自宅にてピアノ教室開業				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション リトミック概要	リトミックの重要性について リトミックの考え方、基本動作について
2	うたあそび 5歳リトミック春	うたあそびについて 5歳児の特徴について
3	うたあそび ビートについて	うたあそびについて ビートの捉え方について
4	3歳児リトミック春 4歳児リトミック春	3歳児の特徴について 4歳児の特徴について
5	1歳児リトミック春	1歳児の特徴について

6	2歳児リトミック春 ダイナミクス	2歳児の特徴について 空間を感じる活動について
7	テンポ 4, 5歳児春まとめ	空間を感じる活動について 音楽を通して表現することについて 定期修得をする
8	1,2,3歳児春まとめ うたあそび	音楽を通して表現することについて うたあそびについて 定期修得確認をする
9	5歳リトミック夏	フレーズの感じ方について
10	拍子(2拍子と4拍子) 拍子(3拍子と6拍子)	拍子の特徴、ビートの捉え方について
11	3歳児リトミック夏 4歳児リトミック夏	アクセントなど様々な拍子の種類について
12	1歳児リトミック夏 2歳児リトミック夏	即時反応について
13	うたあそび リズムパターン	うたあそびについて ビート、拍子、ダイナミクス、リズムについて
14	総まとめ 学期末修得確認	学期末修得確認をする
15	総まとめ	修得確認の振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	子どものリトミックB		
必修選択	選択	(学則表記)	子どものリトミックB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科		30
使用教材	楽しみながらからだを動かす1歳から5歳の「かんたんリトミック」、 続こどものうた200		出版社	ナツメ社、チャイルド本社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	音楽を通して自己表現の幅を広げる。				
到達目標	たくさん子ども達を、音楽遊びでリードをすることができる				
評価基準	表現力、創造性、協調性を含む平常点40%、定期修得確認30%、学期末修得確認30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許				
関連科目	子どものリトミックA/手遊び/子どものうた				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	木下 未佳	実務経験	○		
実務内容	カワイ音楽教室にて2歳コース、3歳コース、4・5・6歳コースピアノ個人のレッスンを担当。 現在、自宅にてピアノ教室開業				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	5歳児のリトミック秋 うたあそび	うたあそびについて
2	フレーズについて うたあそび	うたあそびについて
3	3歳児リトミック秋 4歳児リトミック秋	リズム、拍子について
4	1歳児リトミック秋 2歳児リトミック秋	拍子とダイナミクスについて
5	うたあそび 形式	うたあそびについて

6	4歳、5歳の秋 まとめ 1歳、2歳、3歳の秋 まとめ	定期修得確認を実施する
7	5歳児のリトミック冬 3歳児リトミック冬 4歳児リトミック冬	表現方法について
8	同上	同上
9	ニュアンス	緊張と弛緩について スタカートとレガートについて
10	1歳児リトミック冬 5歳児のリトミック冬 2歳児リトミック冬	表現方法について
11	ソルフェージュ うたあそび	ハンドジェスチャーとボディーサインの表現方法について うたあそびについて
12	4歳児、5歳児冬まとめ 1歳、2歳、3歳の冬 まとめ	表現方法について
13	リトミック実践のポイント	リトミックの実践方法について
14	修得確認	学期末修得確認を実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	子どもの運動支援		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの運動支援		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科		30
使用教材	0～5歳児の発達に合った楽しい！運動遊び 幼児期運動指針ガイドブック 毎日、楽しく体を動かすために		出版社	ナツメ社 サンライフ企画	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自己の運動能力を向上させ、保育に活かせる基本的な補助法と補助法を身につける				
到達目標	子ども達の見本となる運動実技・指導方法を身につけることができる マット・鉄棒・跳び箱運動における補助法が確実にできる				
評価基準	修得確認：40%、授業態度と参加の積極性：40%小テスト、課題レポート：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	運動あそび				
備考	原則、対面授業形式にて実施する				
担当教員	中村 純子	実務経験	○		
実務内容	カワイ体育教室各園にて幼児体育指導 30年 保育園・幼稚園・認定こども園にて体育指導他				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	基本的運動	オリエンテーション・基本的運動について
2	マット運動①	色々なマット種目の自己の技術について
3	マット運動②	前転、後転、側転、倒立前転、その他種目の運動技能について 子どもに対する安全な補助について
4	マット運動③	同上
5	マット運動④	同上

6	マット運動⑤	同上
7	修得確認	学習内容の確認をするため修得確認を実施する
8	跳び箱運動①	開脚とび、台上前転、その他種目の運動技能について 子どもに対する安全な補助について
9	跳び箱運動②	同上
10	跳び箱運動③	同上
11	跳び箱運動④	同上
12	修得確認	学習内容の確認をするため修得確認を実施する
13	ボール運動①	ボールを使用した運動について
14	ボール運動②	ルールのあるボール運動について
15	修得確認	今まで行った学習内容の技能、補助法について確認修得確認を実施する
16	鉄棒運動①	色々な鉄棒種目の自己の技術について
17	鉄棒運動②	足抜き尻抜きまわり、前まわり下り、逆上がり、その他種目の運動技能について 子どもに対する安全な補助について
18	鉄棒運動③	同上
19	鉄棒運動④	同上
20	鉄棒運動⑤	同上
21	修得確認	学習内容について確認をするためテストを実施する
22	なわ跳び運動①	縄跳び運動の種類について、様々な跳び方を実践する (前とび、後ろとび、交差とび、綾とび、2重跳び、その他種目)
23	なわ跳び運動②	同上
24	なわ跳び運動③	長縄あそびの実践、縄の跳び方、回し方について

25	なわ跳び運動④	同上
26	修得確認	学習内容について確認をするため修得確認を実施する
27	フープ運動	フープを使用した運動について
28	平均台運動	平均台を使用した運動について
29	テスト	今まで行った学習内容の技能、補助法について確認テストを実施する
30	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	手遊び		
必修選択	選択	(学則表記)	手遊び		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科		30
使用教材	保育で役立つ！0～5歳児の手遊び・うたあそび		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	子どもたちが喜んで遊べるような指遊び・手遊び・身体遊びを数多く覚える。				
到達目標	教科書や歌詞を見ずに手遊び・指遊び・手話ソングを歌うことができる 実習先や就職先で活用できる手袋シアターを作成し、人前で発表することができる				
評価基準	テスト（発表）：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	子どものリトミックA・B、子どものうた				
備考	原則、この授業は対面形式で実施する				
担当教員	勝村 美由紀	実務経験	○		
実務内容	幼稚園教諭約12年、保育士9か月、保育士養成校非常勤講師5年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業内容・評価方法を理解する。 教科書の中から知ってる手遊びをピックアップして実際に行う。
2	手遊び（0、1歳児）	①あかちゃん たいこ・②ちょちちょあわわ・③にんどころ・④ハナハナあそび ⑤あがりめさがりめ・⑥もものはなさいた・⑦ぼうずぼうず
3	手遊び（0、1歳児）	①にんぎにんぎ・②おつむてんてん・③鳩・④いっぴきちゅう ⑤一本橋こちょこちょ・⑥おせんべやけたかな・⑦だるまさん・⑧とんとんたた
4	手遊び（0、1歳児）	①ぺんぎんさんのやまのぼり・②糸まき・③もじょもじょかいじゅう・④ころりんたまご ⑤なっとうさん・⑥みんないいこ・⑦こりやどこのじぞうさん・⑧大きなたいこ
5	手遊び（2、3歳児）	①こどものけんかに・②おはぎがおよめに・③ぞうさんつくろう・④コブタヌキツネコ ⑤おだんごふたつ・⑥キャベツはキャッキョッキョ・⑦まほうのつえ
6	手遊び（2、3歳児）	①おててをあらいましょう・②とんでけバイキン・③ちいさいはたけ・④アイアイ ⑤とうさんゆびどこです・⑥ててて・⑦どこでしょう

7	手遊び (2、3 歳児)	①そらにかこう・②1 丁目のウルトラマン・③のねずみ・④いっぼんばしにほんばし ⑤あたまのうえでパン・⑥ひとつの指でできること・⑦いっぼんといっぼんで
8	手遊び (2、3 歳児)	①かみしばいのうた・②はじまるよったら始まるよ・③おはなしゆびさん・④さかながはねて ⑤てんぐおはな・⑥おやすみなさい・⑦Twinkle, twinkle, little star・⑧Row, Row, Row your boat
9	手遊び (4、5 歳児)	①てをたたこう・②なっとう・③奈良の大仏さん・④はちべえさんとじゅうべえさん ⑤くいしんぼゴリラのうた・⑥きんぎょちゃんとメダカちゃん・⑦きゃべつのなかから
10	手遊び (4、5 歳児)	①きつねのおはなし・②かなづちトントン・③さあみんなで・④なぞなぞむし ⑤木登りコアラ・⑥おべんとバス・⑦親子ドンブリ
11	手遊び (4、5 歳児)	①たまごでおりょうり・②おなべふ・③茶ちゃつぼ・④くもちゃんゆらゆら ⑤5 つのメロンパン・⑥いわしのひらき・⑦じゃがいも芽だした
12	手遊び (4、5 歳児)	①いちにのさん・②うさぎとかめ・③おちゃらか・④アルプス一万尺 ⑤だいくのキツツキさん・⑥おおきくなったら・⑦桃太郎
13	手遊び (4、5 歳児)	①みかんの咲く丘・②竹やぶのなかから・③どっちひいてポン・④でんでりゅうば ⑤Head, shoulders, knees and Toes・⑥Are you sleeping
14	手遊び発表①	前期の復習として、学んだ手遊びの発表を行う。
15	総まとめ	発表の振り返りと前期のまとめを行う。
16	定番の手遊び①	あたまかたひざぼん、大きな栗の木の下で、などの定番の歌を、実際に子どもたちに教え、みんな で楽しむ ための伝え方を学び、実際に実演してみる
17	定番の手遊び②	たまごのうた、いっしょうめのウルトラマンなどの定番の歌を、実際に子どもたちに教え、みんな で楽しむ ための伝え方を学び、実際に実演してみる
18	季節の手遊び①	ちっちゃないちご、ことりのうたなど、季節や行事で使用する歌を学び、子どもに伝え一緒に楽 しむことができる力を身に付ける。
19	季節の手遊び②	やきいもグーチーパー、おしょうがつのもちつきなど、季節や行事で使用する歌を学び、子ども に伝え一緒に楽しむことができる力を身に付ける。
20	ゲームあそび①	かごめかごめ、ずいずいずっころばしなどゲームあそびうたを覚え、子どもたちと楽しむことが できるよう、伝え方や技術を学ぶ。
21	ゲームあそび②	ことしのぼたん、たけのこいっぼんなどゲームあそびうたを覚え、子どもたちと楽しむことが できるよう、伝え方や技術を学ぶ。
22	ダンス	アブラハムの子などのダンス歌を覚え、子どもたちへの伝え方や楽しみ方を学ぶ。
23	手袋シアター制作①	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
24	手袋シアター制作②	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。

25	手袋シアター制作③	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
26	手袋シアター制作④	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
27	手袋シアター制作⑤	手袋シアターを制作する。 ※子どもたちが喜んで遊べるように工夫、アレンジする。
28	手袋シアター発表①	手袋シアター+手遊び発表を行う。 子どもたちの前で行うことを想定して発表する。
29	手袋シアター発表②	手袋シアター+手遊び発表を行う。 子どもたちの前で行うことを想定して発表する。
30	総まとめ	発表の振り返りと総まとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	実習対策 I A		
必修選択	選択	(学則表記)	実習対策 I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド		出版社	わかば社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育者になるための知識と実習に向けての技術を身に付ける。				
到達目標	実習の種類と目的を理解することができる。 子ども目線で実習に必要なグッズを作ることができる。				
評価基準	提出物・指導案・実習グッズ：40% 授業態度：40% 小テスト：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	実習対策 I B / 実習対策 II A・II B / 実習対策 III A・III B				
備考	原則、対面授業形式で実施する				
担当教員	山道 優花	実務経験	○		
実務内容	保育教諭3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・授業目的と到達目標について ・国家資格取得のための実習単位と実習期間について
2	【実習の基本】 実習の種類と目的	・実習の目標と心構えについて ・実習の目的と得られる経験について
3	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	・幼稚園、保育園、認定こども園の違いについて ・幼稚園、保育園の1日の流れについて
4	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	同上
5	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	・幼稚園教諭と保育士の仕事について ・子どものいない時間の業務等、子どもとの関わり以外の保育の仕事について

6	【実習の基本】 幼稚園・保育園・認定こども園	・未来の先生プロジェクトで体験する保育施設について
7	【修得確認】実習の基本 実習グッズ作成の予告	・修得確認 ・フェルトネームについて
8	【実習の準備】 実習グッズの作成①	・フェルトネームの作成
9	【実習の準備】 実習グッズの作成①	・フェルトネームの作成 ・フェルトや刺しゅう糸など必要な道具と縫い方について
10	【実習の準備】 実習グッズの作成①	・園によるフェルトネームの扱いの違いについて ・型紙の作成と縫う順番について
11	【実習の準備】 実習オリエンテーション	・1年次体験実習の概要について ・実習オリエンテーションの内容や電話かけのマナーについて
12	【実習の準備】 実習オリエンテーション	・園への訪問のマナーとリクルースタイルについて ・実習オリエンテーションでの確認事項について
13	【実習の準備】 実習生の在り方	・認められる実習生になるための心構えについて ・1日の実習生の動き、子どもとの関わり方について
14	【実習の準備】 実習グッズの作成②	・ペープサートの作成方法について
15	【実習の準備】 実習グッズの作成②	・ペープサートの作成 ・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	実習対策 I B		
必修選択	選択	(学則表記)	実習対策 I B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド		出版社	わかば社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育者になるための知識と実習に向けての技術を身に付ける。				
到達目標	指導案を作成の理解し実践することができる。 実習生に必要な「話す、動く、書く」ことを積極的に実践できる。				
評価基準	提出物・指導案・実習グッズ：40% 授業態度：40% 小テスト：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	実習対策 I A/実習対策 II A、II B/実習対策 III A、III B				
備考	原則、対面授業形式で実施する				
担当教員	山道 優花	実務経験	○		
実務内容	保育教諭3年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【オリエンテーション】 【実習の振り返り】	・授業の受け方等について ・体験実習の振り返りについて
2	【保育の実際】 絵本の読み聞かせ	・絵本の選び方について
3	【保育の実際】 絵本の読み聞かせ	・絵本の読み聞かせの方法について
4	【保育の実際】 絵本の指導案	・絵本の読み聞かせの指導案について ・指導案の作成
5	【保育の実際】 絵本の指導案	同上

6	【保育の実際】 絵本の指導案	同上
7	【次年度の実習に向けて】 実習先の選び方	・実習先の選び方と決定までの流れについて ・実習希望調査用紙の書き方について
8	【次年度の実習に向けて】 実習先の選び方	同上
9	【次年度の実習に向けて】 実習先の選び方	同上
10	【保育の実際】 保育用語	・保育現場に必要な用語について
11	【修得確認】保育の実際 実習選考	・修得確認 ・実習選考について
12	【次年度の実習に向けて】 実習選考	・面接練習の実践
13	【保育の実際】 エプロンシアターの指導案	・エプロンシアターの指導案の書き方について ・絵本の指導案との違いについて ・エプロンシアターの演じ方と留意点について
14	【保育の実際】 エプロンシアターの指導案	同上
15	【次年度の実習に向けて】 まとめ	・2年次の実習までのスケジュールについて ・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ペン字 A		
必修選択	選択	(学則表記)	ペン字 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科		1
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・3級合格のポイント ・あなたも書き文字美人にきれいな文字の書き方 ・心 		出版社	<ul style="list-style-type: none"> ・日本習字普及協会 ・二玄社 	

科目の基礎情報②

授業のねらい	字に関する、きれいに書く技術・知識を身に付ける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なビジネス文書（メモなど）を読みやすく書くことができる。 ・正しく書くための、書体等の知識を説明できるようになる。 				
評価基準	テスト（小テスト含む）60%・提出物 30%・授業態度 10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	・硬筆書写技能検定 3級				
関連科目	実習対策 I A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 浪子	実務経験	○		
実務内容	ペン字⇒ペン習字・毛筆習字の指導。 筆記試験対策⇒国語の教員免許（小・中・高）を保有、個別指導塾で国・数・英の指導に従事。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	授業についての説明	ペン字の授業の必要性重要性・授業の進め方、 評価方法・検定について
2	ひらがな	ひらがなの特徴・練習
3	カタカナ、数字、アルファベット	カタカナ・数字・アルファベットの特徴・練習
4	漢字の基本①	楷書 単体文字のポイント説明・練習
5	漢字の基本②	楷書 複合文字のポイント説明・練習 検定問題第2・4問について

6	横書きの文章練習	横書き文章の書き方・文字の大きさ・中心の取り方
7	漢字の基本③	行書 単体文字のポイント説明・練習
8	漢字の基本④	行書 複合文字のポイント説明・練習 検定問題第 2・3 問について
9	縦書きの文章練習	縦書き文章の書き方（漢字とひらがなの調和）・文字の大きさ・中心の取り方
10	縦書きの文章練習	練習問題
11	はがきの表書き 練習	検定問題問 5 に関して書き方説明(レイアウトの確認)、練習
12	はがきの表書き	練習問題
13	テスト	ここまでの学習範囲の中から総合的にテストを実施
14	ポスターの書き方	検定問題問 6 に関して書き方説明(レイアウトの確認)、練習
15	ポスター	練習問題

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ペン字B		
必修選択	選択	(学則表記)	ペン字B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・3級合格のポイント ・あなたも書き文字美人にきれいな文字の書き方 ・心 			出版社	<ul style="list-style-type: none"> ・日本習字普及協会 ・二玄社

科目の基礎情報②

授業のねらい	字に関する、きれいに書く技術・知識を身に付ける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書を誤字脱字なく、読みやすく書くことができる。 ・正しく書くための、書体等の知識を説明できるようになる。 				
評価基準	テスト（小テスト含む）60%・提出物30%・授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	・硬筆書写技能検定 3級				
関連科目	実習対策 I B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 浪子	実務経験	○		
実務内容	ペン字⇒ペン習字・毛筆習字の指導。 筆記試験対策⇒国語の教員免許（小・中・高）を保有、個別指導塾で国・数・英の指導に従事。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	主な部首の名称	漢字の部分と名称を確認、小テスト
2	筆順	正しい筆順の確認、小テスト
3	検定過去問練習	検定過去問題 検定問題第1問(速書き)について
4	検定過去問練習	検定過去問題
5	検定過去問練習	検定過去問題

6	検定過去問練習	検定過去問題
7	検定答え合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・検定答え合わせ ・検定対策、自己学習や取り組みについての振り返り
8	年賀状の書き方 手紙の書き方	<p>年賀状、手紙のポイント説明、練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心を込めて文字を書くことについて話し合う ・年賀状、手紙を書く場面のシュミレーション
9	地名の練習	都道府県、県庁所在地名などの小テスト
10	履歴書の書き方①	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書の書き方について ・就職するにあたって必要になる書類の文字の練習
11	履歴書の書き方②	<ul style="list-style-type: none"> ・就職するにあたって必要になる書類の文字の練習 ・履歴書の与える印象について考える
12	テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・後期のまとめテストを実施する ・自分の書く字がどう変わったか自分自身で確認する
13	実習日誌・連絡帳の書き方①	<ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌、連絡帳のバランスのとり方 ・記入時の注意点
14	実習日誌・連絡帳の書き方②	実習日誌や連絡帳でよく使う言葉の練習
15	総まとめ	授業の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	保育 PC デザイン A		
必修選択	選択	(学則表記)	保育 PC デザイン A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科		1 15
使用教材	教育デジタルトランスフォーメーション 基礎 情報基礎演習 保育士・栄養士のためのパソコン操作編		出版社	一粒書房	

科目の基礎情報②

授業のねらい	Word・Excelの基本操作を習得し、実際の業務に役立つスキルを身に付ける				
到達目標	簡単なビジネス文書作成や表計算の方法と基本的な情報知識を身につけ、保育現場で役立つ PC スキルを習得する				
評価基準	テスト 60%、課題提出/平常点 40%				
認定条件	出席が総時間数の 3分の2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	保育 PC デザイン B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	尾崎絵里子	実務経験	○		
実務内容	コンピュータ事務、コンピューターデータ入力				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・概要・タッチタイピング	授業のねらい・年間の授業予定等説明 タッチタイピングの方法と必要性について
2	タッチタイピング 第2部 Office 操作 Word 編	タッチタイピング（繰り返し練習・ホームポジション）の練習 第3章 Word の基本操作
3	タッチタイピング 第2部 Office 操作 Word 編	タッチタイピング（上段・下段）の練習 第3章 Word の基本操作 / 第4章 おたよりを作成しよう
4	第2部 Office 操作 Word 編	第4章 おたよりを作成しよう / 第5章 掲示用ポスターを作成しよう
5	第2部 Office 操作 Word 編	第6章 レポートを作成しよう / 第7章 知っておくと便利な機能
6	第2部 Office 操作 Word 編	文書作成の総復習・確認

7	第 2 部 Office 操作 Word 編	文書作成の総復習と演習
8	テスト (Word)	文書作成問題の実施
9	第 3 部 Office 操作 Excel 編	テスト返却 第 8 章 Excel の基本操作
10	第 3 部 Office 操作 Excel 編	第 8 章 Excel の基本操作
11	第 3 部 Office 操作 Excel 編	第 9 章 簡単な関数を使ってみよう
12	第 3 部 Office 操作 Excel 編	第 9 章 簡単な関数を使ってみよう / 第 10 章 割合を計算するテクニック
13	第 3 部 Office 操作 Excel 編	表計算の総復習・確認
14	テスト (Excel)	表計算問題の実施
15	第 3 部 Office 操作 Excel 編	テスト返却 第 11 章 知っていると便利な機能

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	保育 PC デザイン B		
必修選択	選択	(学則表記)	保育 PC デザイン B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療保育科		15
使用教材	教育デジタルトランスフォーメーション 基礎 情報基礎演習 保育士・栄養士のためのパソコン操作編		出版社	日経 BP 社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	Word・Excel の基本操作を習得し、実際の業務に役立つスキルを身に付ける。 PowerPoint を用いた資料の作成・発表ができる				
到達目標	Word、Excel、PowerPoint の基本操作を学び、保育現場で用いられる資料を作成することができる				
評価基準	テスト 60%、課題提出/平常点 40%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	保育 PC デザイン A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	尾崎絵里子	実務経験	○		
実務内容	コンピュータ事務、コンピューターデータ入力				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 総復習(実技) ①	前期の振り返りと後期のオリエンテーション Word、Excel のいろいろな機能の復習
2	総復習(実技) ②	Word、Excel のいろいろな機能の復習
3	総復習(実技) ③	Word、Excel のいろいろな機能の復習
4	総復習(実技) ④	Word、Excel のいろいろな機能の復習
5	総復習(実技) ⑤	Word、Excel のいろいろな機能の復習

6	テスト	Word、Excel 確認テスト実施
7	第 4 部 Office 操作 PowerPoint 編	テスト返却 第 12 章 PowerPoint の基本操作
8	第 4 部 Office 操作 PowerPoint 編	第 13 章知っていると便利な機能 /第 14 章 知っていると便利な機能 2 第 15 章スライドでポスター作成
9	第 4 部 Office 操作 PowerPoint 編	同上
10	プレゼンテーション制作①	発表の企画・準備 発表資料 (PowerPoint) の作成 プレゼンテーションの練習など
11	プレゼンテーション制作②	同上
12	プレゼンテーション制作③	同上
13	プレゼンテーション制作④	同上
14	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション発表
15	学びの振り返り	Word、Excel、PowerPoint の総復習・確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	子どもの体のしくみA		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの体のしくみA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	ぜんぶわかる 人体解剖図		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	人の身体の構造について理解を深める。おとなと子どもの身体の違いについて正しく理解する。				
到達目標	人間の身体の概要を知り、頭部・身体・血管のしくみを理解することができる。 おとなと子どもの人体の違いを理解することができる。				
評価基準	小テスト…40% 修得確認…40% 授業態度…20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	子どものからだのしくみB、子どもの保健A・B、子どもの医療A・B、小児医療A・B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田中 美智子	実務経験	○		
実務内容	地域密着型の総合病院、リハビリ病院、皮膚科や内科のクリニック、保育園にて看護師として14年間勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	教科の説明 第1章・総論 からだの区分と用語	学習のねらい・目標・進め方を理解する。身体の区分について理解する。
2	第1章・総論 筋骨格系	骨・関節・筋肉の働きと構造について理解する。
3	第1章・総論 循環器系①	循環器系の概要、血管の種類・構造について理解する。
4	第1章・総論 循環器系②	血液の成分と働き、免疫・リンパ系のしくみについて理解する。
5	第1章・筋骨格系循環器系	復習・修得確認を受ける

6	第1章・総論 消化器系	消化吸収のしくみ、消化管の運動について理解する。
7	第1章・総論 呼吸器系	呼吸器系の概要について理解する。
8	第1章・総論 泌尿器系	泌尿生殖器の概要について理解する。
9	第1章・総論 内分泌系	内分泌系の概要について理解する。
10	第1章・総論 神経系①	中枢神経系と末梢神経系、神経伝達のしくみについて理解する。
11	第1章・総論 神経系②	脳神経、脊髄神経のしくみ、運動神経と知覚神経、自律神経について理解する。
12	第1章・総論 感覚器系	皮膚の構造・機能について理解する。
13	第1章 総論 まとめ	前期：復習・修得確認を受ける。
14	第1章 総論 まとめ	前期：復習・修得確認を受ける。
15	総括	修得確認の振り返りと総まとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	子どもの体のしくみB		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの体のしくみB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	ぜんぶわかる 人体解剖図		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	人体の構造について理解を深める。大人と子どものからだの違いについて正しく理解する。				
到達目標	人体のからだのしくみや構造を知り子どもの成長と発達について理解する。 現場で習得した知識を生かすことができる。				
評価基準	小テスト：40% 修得確認：40% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	子どものからだのしくみA、子どもの保健A・B、子どもの医療A・B、小児医療A・B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田中 美智子	実務経験	○		
実務内容	地域密着型の総合病院、リハビリ病院、皮膚科や内科のクリニック、保育園にて看護師として14年間勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第2章 頭部・頸部①	頭部・頸部の名称、血管・筋肉について理解する。
2	第2章 頭部・頸部②	頭部の神経・リンパ、脳・小脳・脳幹の構造やしくみについて理解する。
3	第2章 頭部・頸部③	目・鼻・耳・口の構造やしくみ、平衡感覚について理解する。
4	第2章 頭部・頸部④	復習・修得確認を受ける。
5	第3章 胸部①	胸壁・胸部の内臓、肺の構造、呼吸のしくみ、ガス交換について理解する。
6	第3章 胸部②	心臓のしくみ、弁と刺激伝導系、心臓を養う血管、乳房の構造について理解する。

7	第3章 胸部③	復習・修得確認を受ける。
8	第4章 腹部・背部①	腹壁・脊柱・骨盤について理解する。
9	第4章 腹部・背部②	腹部の内臓（胃・小腸・大腸・肛門）の構造と働きについて理解する。
10	第4章 腹部・背部③	肝臓・膵臓・胆のうの働きと構造について理解する。
11	第4章 腹部・背部④	腎臓の構造や膀胱と排尿について理解する。男性・女性生殖器、受精のしくみについて理解する。
12	第5章 上肢・下肢	上肢・下肢の血管と神経、骨格と筋肉について理解する。
13	まとめ①	後期：復習・修得確認を受ける。
14	まとめ②	後期：復習・修得確認を受ける。
15	総括	修得確認の振り返りとまとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム I		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラム I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)		出版社	FCE エデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	横山 遼丞	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	夢のスケッチブックアプリの使い方を学ぶ SANKO ワークコンピテンスの理解を深める
2	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
3	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
4	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
5	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ

6	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
7	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
8	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
9	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)		出版社	FCE エデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。 				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	横山 遼丞	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る
5	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ

6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
13	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアゼミナール I A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアゼミナール I A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	改訂 保育学生のための基礎学力演習 学習の手引き		出版社	中央法規出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育現場で必要とされる人材となるための社会人基礎力、必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。				
到達目標	保育現場で必要とされる人材となるために、1年次から就職を意識した学校生活を送ることができる。 基礎知識を身に付け、実習や行事への取り組みを意欲的に取り組むことができる。 基礎的な日本語力を身に確実に身につけ、適切な読み書きができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことができる。				
評価基準	学習の手引きを含め提出物：20%・テスト(修得確認)：50%・授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	未来の先生プロジェクト/キャリアゼミナール I B/キャリアゼミナール II A、II B/キャリアゼミナール III A、III B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	横尾 直美	実務経験	○		
実務内容	幼稚園教諭5年、保育士5年、園長歴8年半。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【オリエンテーション】 教育課程の理解 基礎学力演習	授業の流れ、基礎学力演習、到達目標について 3年間の教育課程と取り組むべき実習や行事について 国家資格取得のための併修制度について
2	【社会人の基本】 社会人基礎力の理解 基礎学力演習	社会で必要な人材について 社会人の基礎力について 基礎学力演習について
3	【社会人の基本】 社会人基礎力の理解 基礎学力演習	保育現場体験について 行事の必要性について 基礎学力演習について

4	【保育者の基本】 必要な知識 基礎学力演習	現場体験を見据え、社会人に必要な敬語や電話のかけ方について 実習日誌の記入法について 基礎学力演習について
5	同上	同上
6	同上	同上
7	【保育者の基本】 必要な知識 基礎学力演習	敬語と保育漢字のまとめ 基礎学力演習について
8	【就職を見据えた実習準備】 現場体験への準備 基礎学力演習	保育者の身だしなみ、実習現場での身だしなみについて 実習日誌の書き方について 基礎学力演習について
9	同上	同上
10	同上	同上
11	【調整】 社会人と現場体験のフォロー 基礎学力演習	社会人と保育者の基本、実習準備について 基礎学力演習について
12	【社会人基礎力】 社会人の基礎知識 基礎学力演習	ことわざ、割合、漢字の基本など一般教養の修得のまとめ 行事の取り組みと意味について 基礎学力演習について
13	同上	同上
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアゼミナール I B		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアゼミナール I B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	改訂 保育学生のための基礎学力演習 学習の手引き		出版社	中央法規出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育現場で必要とされる人材となるための社会人基礎力や必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。				
到達目標	保育現場で必要とされる人材となるために、1年次から就職を意識した学校生活を送ることができる。 基礎知識を身に付け、実習や行事への取り組みを意欲的に取り組むことができる。 基礎的な日本語力を身に確実に身につけ、適切な読み書きができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことができる。				
評価基準	学習の手引きを含め提出物：20%・テスト(修得確認)：50%・授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	未来の先生プロジェクト/キャリアゼミナール I A/キャリアゼミナール II A、II B/キャリアゼミナール III A、III B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	横尾 直美	実務経験	○		
実務内容	幼稚園教諭5年、保育士5年、園長歴8年半。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 【社会人への準備】 必要な知識 基礎学力演習	授業の流れ、到達目標について 社会人に必要な手紙、履歴書、文章の書き方について 基礎学力演習について
2	同上	同上
3	【社会人への準備】 必要な知識 基礎学力演習	社会人に必要な手紙の書き方、文章の復習 封筒の種類、宛名の書き方について 基礎学力演習について

4	【社会人への準備】 必要な知識 基礎学力演習まとめ	自己PRと志望動機について 自己PRと志望動機の記入の仕方、内容について 基礎学力演習について
5	同上	同上
6	同上	同上
7	【就職を見据えた実習準備】 実習準備	次年度の実習について 実習グッズの作成の意味と目的について
8	同上	同上
9	同上	同上
10	【就職を見据えた実習準備】 実習準備	実習グッズの作成計画、及び作成の実践
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	期末テスト	期末テスト実施
15	総まとめ	テスト振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	教養講座		
必修選択	選択	(学則表記)	教養講座		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科		1
使用教材	学習の手引き (おだたん人間成長講座 I)		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	芸能興行、地域の行事、美術鑑賞、読書などを通して、豊かな知性や感性あふれる人物を目指す。				
到達目標	感じたこと、学んだことを手引きの中に記述できる。 芸術や文化財を選び、鑑賞することができる。				
評価基準	学習の手引き (レポートテスト) : 100%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・期日までに学習の手引きを提出 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目					
備考	原則、この科目はオンデマンド授業形式にて実施する。				
担当教員	横尾 直美	実務経験	○		
実務内容	幼稚園教諭5年、保育士5年。園長歴8年半。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	小田原短期大学について1 (オンデマンド動画①)	オリエンテーション 小田原短期大学、建学の精神の理解、校歌の意味について
2	小田原短期大学について2 (オンデマンド動画②)	建学の精神、教育目標について
3	美術鑑賞 1.2 (オンデマンド動画③)	美術展や画廊について
4	美術鑑賞 1.2	国内外の美術鑑賞について
5	同上	同上
6	美術鑑賞 3 (オンデマンド動画④)	鑑賞した美術について

7	読書	推薦図書について
8	同上	同上
9	古典芸能（地域文化）鑑賞 1.2 （オンデマンド動画⑤）	古典芸能（地域文化）について
10	古典芸能（地域文化）鑑賞 3 鑑賞と感想	古典芸能や地域文化について
11	同上	同上
12	文化財鑑賞 1.2 （オンデマンド動画⑥）	文化財について
13	文化財鑑賞 3 鑑賞と感想	文化財鑑賞について
14	同上	同上
15	まとめ	これまでの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	実技	科目名	未来の先生プロジェクト	
必修選択	選択	(学則表記)	未来の先生プロジェクト	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	医療保育科	1 45
使用教材	幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド		出版社	わかば社
科目の基礎情報②				
授業のねらい	保育現場を体験することで、保育者のイメージを明確にする 子どもと関わるやりがいと楽しさを実感する			
到達目標	保育者の仕事内容を理解する 子どもと接するための事前準備を行い、実際に子どもの前で実践する経験をすることで 子どもの前に立つ緊張感や、子どもたちと触れ合うことの楽しさを感じ、子どもの好きな歌や遊びを知る			
評価基準	提出物：50% 授業態度：30% 保育現場評価：20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許			
関連科目	キャリアゼミナールⅠA・ⅠB			
備考	保育現場での実習と事前事後指導を含め、50分×45回学ぶ。 現場実習の時間と日数は、地域や園の状況に合わせる。 学校指定の日報を提出し、成績の判断材料とする。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	横尾 直美	実務経験	○	
実務内容	幼稚園教諭5年、保育士5年、園長歴8年半。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	事前準備①	保育現場での心構えについて
2	同上	同上
3	同上	同上
4	事前準備②	保育技術の習得について

5	同上	同上
6	同上	同上
7	事前オリエンテーション	事前オリエンテーションについて
8	同上	同上
9	保育施設体験：保育園	<p>保育施設体験（保育園）</p> <p>50分×14回＝700時間の体験実習を行う。</p> <p>基本は2日間。</p> <p>日誌を記入する。（成績評価対象）</p> <p>日誌は、保育施設ではなく学校へ提出する。</p> <p>日誌の様式は、2～3年次実習の日誌の簡易版とし、日誌を書くことに慣れる。</p> <p>※地域や園の状況により、現場実習の時間と日数に変更になる可能性がある。</p> <p>※地域や園の状況により、長期休暇を利用したボランティアになる可能性がある。</p>
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	同上	同上
16	同上	同上
17	同上	同上
18	同上	同上
19	同上	同上
20	同上	同上

21	同上	同上
22	同上	同上
23	保育施設体験振り返り	保育施設体験について復習
24	同上	同上
25	次回実習への学び	次回実習について
26	事前オリエンテーション	事前オリエンテーションについて
27	同上	同上
28	保育施設体験：幼稚園	<p>保育施設体験（幼稚園）</p> <p>50分×14回＝700時間の体験実習を行う。</p> <p>基本は2日間。</p> <p>日誌を記入する。（成績評価対象）</p> <p>日誌は、保育施設ではなく学校へ提出する。</p> <p>日誌の様式は、2～3年次実習の日誌の簡易版とし、日誌を書くことに慣れる。</p> <p>※地域や園の状況により、現場実習の時間と日数が変更になる可能性がある。</p> <p>※地域や園の状況により、長期休暇を利用したボランティアになる可能性がある。</p>
29	同上	同上
30	同上	同上
31	同上	同上
32	同上	同上
33	同上	同上
34	同上	同上
35	同上	同上
36	同上	同上

37	同上	同上
38	同上	同上
39	同上	同上
40	同上	同上
41	同上	同上
42	保育施設体験振り返り	保育施設体験について復習
43	同上	同上
44	保育現場体験の総まとめ	保育現場体験についてのまとめ
45	同上	同上